

能
當
麻

青木道喜

T A E M A

2 0 2 3 . 1 1 . 4



能に描かれた念佛

第3回

2023年
11月4日 [土]
14時開演
(13時30分開場)

二〇二三年度 大津市伝統芸能会館主催 能楽公演

お話し 當麻寺中之坊 貫主 松村實昭

〈能〉

化女 宮本茂樹

化尼 青木道喜

當麻

從僧 大坪賢明 大鼓 河村 大 太鼓 前川光範
念佛の行者 江崎欽次朗 小鼓 吉阪一郎 笛 森田保美
從僧 松本義昭

間 門前の男 茂山忠三郎

後見 大江広祐 河村浩太郎 田茂井廣道
味方 玄 河村和貴 河村和重
松野浩行 古橋正邦

終演 十七時頃

念佛が登場する能を取り上げる今年度の主催能楽公演。第三回は「當麻」を上演いたします。

和州、二上山の麓、當麻寺。参詣に訪れた念佛行者の前で、弥陀の化身である老尼によって語られる當麻曼荼羅の伝説と、中将姫が織りなす浄土讚美の舞。弥陀来迎を希う中将姫の法悦が溢れ出るような大作を、じっくりとお楽しみください。



あおき みちよし
青木道喜

一九五〇年京都市生まれ。観世流能楽師、故青木祥二郎の長男。父及び故九世片山九郎右衛門(幽雪)に師事。重要無形文化財総合指定者。京都市中央区に冬青庵能舞台を構え、京都を中心に意欲的な活動を展開。宮沢賢治生誕百年記念新作能「永訣の朝」、親鸞上人五百回御遠忌記念能「蓮如」、信州明科オリジナル作品「犀龍小太郎」「恋の龍門淵」、新作狂言「鹿踊りのはじまり」「はしくれ法師」「ものぶさ歌太郎」を書くなど、『風姿花伝』第三問答条々の「能をせん程の者の、和才あらば、申樂を作らん事、易かるべし。これ、此道の命也。」を実践している。海外公演にも意欲的。二〇二三年には能「泣不動」を復曲し、京都の清浄華院にて四〇〇年ぶりに上演。二〇二六年には高浜虚子作の能「鐵門」の復曲にも携わり、シテを演じる。京都市新人芸術家選奨、安曇野文化大賞を受賞。



まつむら じゅんしょう
當麻寺中之坊 貫主
松村實昭

一九九六年當麻寺に入寺。伝統の「當麻曼荼羅絵解き」を口伝継承し、中之坊客殿で定期的に実修するほか、大本山総持寺(神奈川)や国立劇場(東京)など各地で口演布教に活躍する。また、二〇〇五年には當麻曼荼羅の写仏道場を開設し、出張教室開催や文化センター講師を務めるなど、宗教体験を目的とした写仏の指導者としても知られている。
声明公演、声明講座、經典講座、出張写仏講座、講演等多数。

座席図



入場料 前売 S席 5,500円 A席 5,000円 (当日 各500円増)
発売日 友の会:7月29日(土) 一般:8月19日(土) 各午前10時~
発売開始日のお電話でのお申込みは、11時から受け付けます。

前売取扱 大津市伝統芸能会館 tel 077-527-5236
堅田駅前観光案内所 tel 077-573-1000
石山駅観光案内所 tel 077-534-0706

会場 大津市伝統芸能会館 大津市園城寺町246-24 tel 077-527-5236
https://otsu-dengei.jp info@otsu-dengei.jp

アクセス 京阪電車石坂線「大津市役所前」駅から南へ約400m
JR琵琶湖線「大津」駅からタクシーで約10分
JR湖西線「大津京」駅からタクシーで約5分
来館者専用駐車場(無料)がございます。(先着50台程度)

※未就学児のご入場はお断り申し上げます。※記載内容は変更になる場合がございます。
ご来館される方へのお願い
公演は、滋賀県等の感染症拡大防止ガイドラインに基づいて実施をいたします。
発熱、体調不良の場合はご来館をお控えください。
感染症拡大防止にご理解、ご協力をお願い申し上げます。
主催/大津市伝統芸能会館 指定管理者 株式会社コンベンションリンケージ
後援/三井寺 京都新聞 大津市議会

チラシ使用写真(両面とも) / 「當麻」青木道喜 撮影:金の星渡辺写真場